

2012年10月29日

International Congress, "Fire Computer Modeling 2012"参加報告

内田 英建

10月17日(水)に成田空港を出国し、ミュンヘン(München)経由にて、同日夜スペインのカタルーニャ(Catalunya)州バルセロナ(Barcelona)に到着しました。バルセロナで一泊しまして、現地時間18日(木)昼過ぎに立ち、目的地サンタンデル(Santander)に到着しました。

サンタンデルは、スペイン北部の大西洋に面したカンタブリア(Cantabria)州の州都であり、シーズンにはリゾート地として賑わう場所です。残念ながら、そのシーズンは終わりを迎え、人通りも疎らでしたが、週末(19日(金))には各地からの車で海岸部、及び中心部は渋滞をしておりました。

International Congress, "Fire Computer Modeling 2012"は、そのサンタンデルの中心地より北東にあるカンタブリア大学(Universidad de Cantabria)で開催されました。

大会は9時(現地時間、時差7時間)から始まりました。オープニング・セッションでは、当研究センターの客員教授でもあるアルスター大学(University of Ulster FireSERT(UK))のMichael Delichatsios氏の"Numerical Soot Modeling in Turbulent Jet Flames and Pool Fires"というタイトルの招待講演がありました。

11時から3コースに分かれ、一般講演が行われました。東京理科大学火災科学研究センターからは、内田が参加し、"Comparisons on Computational Schemes Used in CFD Models"というタイトルで、現在、数値シミュレーションで用いられている計算スキームの比較(運動方程式、エネルギー方程式に含まれる移流項のスキーム比較)を行い、計算結果がどのように変化するか火災



大学の外の街並み

発表風景

現象を通して検証した研究成果を報告しました。

日本からの参加は、他に、金沢大学を中心とした研究グループの2件、北海道大学の研究グループの1件の研究成果報告がありました。

一般講演は途中、カフェブレイク、昼食を挟み、18時まで続き、その後、クロージング・セッションがあり、大会は閉会しました。

同日夜中、サンタンデールを立ち、明けて20日(土)にバルセロナに到着し、そこから北へ車にて移動してジローナ(Girona)に到着し、この地に二泊しました。現地時間21日(日)早朝にバルセロナを立ち、フランクフルト(Frankfurt)経由にて、日本時間22日(月)早朝に羽田に到着し、帰国しました。



大会会場となった建物1

大会会場となった建物2